



※情報は、取材日時点のものです。

いばらきねりんスポーツ大会予選会を開催しました

5月28日、「いばらきねりんスポーツ大会」の市内予選会を市多目的運動広場で行いました。この大会は、高齢者に適したスポーツを通して健康の保持増進を図るとともに、地域間の交流を深め活力ある長寿社会を目指すことを目的に開催されています。会場では、「グラウンド・ゴルフ」「ペタンク」「ワナゲ」の3競技で熱戦が繰り広げられました。集中力を高めそれぞれの競技に挑んだ参加者たち。競技後は和やかに交流を深めました。



優勝(グラウンド・ゴルフは上位6名)したチームは、10月に行われるいばらきねりんスポーツ大会へ出場します▼



グラウンド・ゴルフ

ペタンク

ワナゲ

新たな地域おこし協力隊が着任

地域おこし協力隊に新たに着任された佐々木瑠菜さんへの委嘱状交付式を4月15日に行いました。佐々木さんは、宿泊業や海外滞在の経験を生かし、主に株式会社かすみがうらFCが運営する宿泊施設(江口屋、水郷園)などを活用した地域振興をテーマに活動します。



楽しい行事や新しい活動など、身近な情報をお寄せください。

情報広報課 (霞ヶ浦庁舎)

市・鯉淵学園・かすみガウガウら協同組合が連携協定を締結しました

5月29日、地域農業の担い手を確保し、継続的な地域農業の発展に寄与することを目的に、「市・鯉淵学園・かすみガウガウら協同組合」は、包括的な連携協定を締結し、記念式典を行いました。式典では、鯉淵学園 森啓一理事長の基調講演や、かすみガウガウら協同組合の事業報告、「持続可能な地域農業と特定地域づくり事業」と題したパネルディスカッションで、それぞれの立場からみた課題を共有するなど、有意義な時間となりました。



三者連携協定 事業内容

A：新規就農者の長期育成プログラム
(農業技術の体系的な習得から実践を経て新規就農に至る仕組みを構築)

B：実践等受入プログラム
(かすみがうら市での農業に興味を持ってもらい、Aに繋げる)

鯉淵学園

かすみがうら市での新規就農を目指す「新たな学習コースを提供」

学生等の農業実習・インターンシップの受入窓口

かすみガウガウら協同組合

かすみがうら市での新規就農を目指す「実践(雇用)の場を提供」

学生等の農業実習・インターンシップの受入担当

かすみがうら市

かすみがうら市での新規就農予定者に対し「補助制度等の支援を実施」

学生等の農業実習・インターンシップの受入支援

歩崎公園にポプラが寄贈されました

かわしまふきのり 川島房宣様(深谷在住)より、ポプラ12本を寄贈いただき、3月に歩崎公園に植樹されました。このご厚意に対し、4月28日に感謝状をお贈りしました。美しい樹形が特徴的なポプラは、紅葉も楽しむことができます。歩崎公園の新たなシンボルの誕生に、期待が寄せられます。



ゼロワットパワー株式会社様

ゼロワットパワー株式会社様から寄付金

4月22日、ゼロワットパワー株式会社様から企業版ふるさと納税を通じて寄付をいただいたことを受け、感謝状の贈呈を行いました。当市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、自社でCO₂排出ゼロの発電を目指す佐藤和彦代表取締役は「再生可能エネルギーの地産地消の推進の後押しになれば幸いです。市内のエネルギー作物についても研究したい」と意欲を語られました。



シン・いばらきメシ 2026 市の代表が決定しました!

5月7日、県でNo.1のご当地グルメを決定する「シン・いばらきメシ総選挙 2026」の市代表を決める審査会を行いました。アメリカナマズを使用していること、かすみがうら市産の食材を使用していることを条件にエントリーされた3種類のグルメは、各分野から選ばれた審査委員によって審査され、かすみがうらFCの【「霞ヶ浦をかじる。」コハンコッペパン】が市代表に決定しました。総選挙は、10月10日~12日に開催されます。



審査委員：市ふるさと大使 グミさん、東風高校生徒4名、漁協組合、市政アドバイザー、市栄養士